

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
優駿スプリント	2019/6/25	SII	大井	1200m	ハイペース	稍重	コース適性、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ニーマルティアラ	牝3	54	藤本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	カコイシース	アリダー系	D	B	D	D	C	C		
	2	ポッドギル	牝3	55	矢野	フリオーソ	ロベルト系	ディアフロ	ヘイロー系	A	B	B	B	B	B	△1	
2	3	スマートドレイク	牡3	56	本田	Distorted Humor	ミスプロ系	Dynaformer	ロベルト系	C	C	C	D	C	C		
	4	アジュディカグラ	牡3	57	西	アジュディミツオー	ノーザン系	ソウルオブザマター	ダマスカス系	A	C	B	B	B	B	◎	
3	5	ヴァルラーム	牡3	57	真島	キンシャサノキセキ	サンデー系	カリスマティック	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	○	
	6	ロイヤルビクトリー	牝3	55	森	タイムパラドックス	ロベルト系	フレンチデビュティ	ノーザン系	A	A	B	C	B	B	▲	
4	7	ケンガイア	牝3	55	笹川	トランセンド	アイスカベイド系	ゼンノロブロイ	サンデー系	D	B	C	B	C	C		
	8	カンゲキ	牡3	57	赤岡	ヨハネスブルグ	ノーザン系	ネオユニヴァース	サンデー系	C	A	B	C	B	C		
5	9	トーセンボルガ	牡3	57	川島	トーセンモナーク	サンデー系	Mineshaft	ナスルーラ系	D	D	D	B	C	C		
	10	フォルベルス	牡3	56	石崎駿	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	△3	
6	11	ナガタブラック	牡3	57	伊藤	クロフネ	ノーザン系	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	B	D	B	B	B	B	△2	
	12	グローリアスライブ	牝3	54	和田	ゴールドヘイロー	サンデー系	シーキングザダイヤ	ミスプロ系	C	C	C	C	C	C		
7	13	ホールドユアハンド	牡3	58	左海	エスポワールシチー	サンデー系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	A	B	C	C	B	C		
	14	レベルフォー	牡3	57	本橋	リーチザクラウン	サンデー系	フレンチデビュティ	ノーザン系	C	C	C	C	C	C		
8	15	マルヨキング	牡3	56	達城	ローレルグレイト	ノーザン系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	x1	
	16	マルバソ	牝3	55	町田	フィガロ	ノーザン系	Cozzene	ナスルーラ系	D	C	C	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ホール カンゲ アジュ レベル ケンガ ヴァル グロー トーセ ロイヤ マルヨ フォル ポット ナガタ スマ マルバ ニーマ	<p>帝王賞の前日に行われるのが3歳限定のスプリント重賞・優駿スプリント。毎年、1200m組、クラシック組、古馬との対戦組などが激突し、前哨戦の優駿スプリントトライアルの結果がアテにならず、非常に難解な一戦になっている。実際、過去5年の3連複配当は、明らかに波乱傾向。昨年は11→8→6番人気で、3連複14万馬券、3連単138万馬券が飛び出した。今年は優駿スプリントトライアル組の1～4着馬がそのまま人気を集めている様子。果たして今年は優駿スプリントトライアルの結果が反映されるのか、それとも例年通りひと波乱あるのだろうか。早速、予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>アジュディカグラ</b>が巻き返す。前走優駿スプリントトライアルでは単勝1.6倍の支持を集めながら4着に敗れたが、上り1～3位をマークした馬がそのまま1～3着に入る差し競馬で先行力が武器の本馬にとっては苦しいレースになってしまった。加えてひと息入れて馬体重が+15キロも増えており、鞍上の西騎手もコメントを残している通り、数字通りに太かったのだろう。優駿スプリントは例年通りなら決め手より先行力が生きるレース。内枠から先行策を打てる本馬には理想的なレースになるだろう。(以下省略)</p>	回顧         次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ニーマルティアラ		転入初戦のハッピーナイト賞は内枠から出遅れて上手くリカバリーされるも直線に向いて伸び切れず。2走前のJRA未勝利はタイムランクEでの勝利。南関東の重賞では力不足なのでは。		
	2	ポッドギル	△1	前走優駿スプリントトライアルは本来の先行策を打てない中、終いしっかりと伸びて3着を確保。前走のレースぶりなら内で砂を被っても問題なく、ここも鞍上の誘導ひとつで上位に食い込めるだろう。		
2	3	スマートドレイク		血統の字面通り一本調子の面があり、スムーズな先行策を打てないと脆い。ここは外に速い馬がいて揉まれる競馬になりそう。前走優駿スプリントトライアル(11着)同様、力を出し切れずに終わるだろう。		
	4	アジュディカグラ	◎	優駿スプリントは例年通りなら決め手より先行力が生きるレース。内枠から先行策を打てる本馬には理想的なレースになるだろう。ひと叩きされた効果もありそうで、今度は前走のように止まることはない。これまで逃げて3戦3勝なので、この枠なら行き切って欲しいところ。		
3	5	ヴァルラーム	○	前走優駿スプリントトライアルでは勝ち馬ロイヤルビクトリーから0.1秒差の2着に敗れたものの、展開のアヤの影響が強く、決して力負けてはいないはず。事実、2走前のマーガレット特別ではロイヤルビクトリーを負かしており、この2頭は展開ひとつで着順が入れ替わる関係と見ていいだろう。		
	6	ロイヤルビクトリー	▲	新馬以降、勝ち切れないレースが続いていたが、前走優駿スプリントトライアルで2勝目をマーク。鮮やかな差し切りだったが、展開、コース取りともにハマったのは事実で、前走の結果だけをそのまま呑み込むことはできないか。それでもキャリア5戦とまだ浅く、上昇の余地を残している。		
4	7	ケンガイア		前走若潮スプリントではカンゲキ、レベルフォーに完敗といえる3着。今回はメンバーレベルがさらに上がっており、馬券圏内に加わるのは難しいだろう。		
	8	カンゲキ		2走前の若潮スプリントは確かに強かったが、近走大井で勝ち切れていないのは事実。若潮スプリント2着レベルフォーは次走優駿スプリントトライアルで7着に敗退。優駿スプリントトライアル>若潮スプリントと判断していいだろう。		
5	9	トーセンボルガ		4走前の若潮スプリントでは勝ち馬カンゲキから1.0秒差の4着と完敗。前走若竹賞は逃げて勝利目前の競馬に持ち込んだが、スプリント戦ではハナに行くのも難しいだろう。中団付近で伸び切れずに終わるはず。		
	10	フォルベルス	△3	ザウスヴィグラス×リパティーベルの血統で、大井1200mが合っていそう。2走前の3歳800万円未満では1分13秒6で走っており(優駿スプリントトライアルなら4着に値する)、優駿スプリントトライアル上位組との差はそこまでほどないはずだ。		
6	11	ナガタブラック	△2	前走ジェミニ賞は着差以上に強さが際立っており、時計に関してはまだまだ詰められそう。川崎で実績を積み上げてきたが、520キロ前後の雄大な馬体から伸び伸び走れる大井コースでこそこのタイプだろう。勢いのあるクロフネ産駒は怖い。		
	12	グローリアスライブ		2走前の留守杯日高賞は圧巻の逃げ切りも、岩手では格が違ったのだろう。南関東同士では特別戦でも勝ち切れておらず、重賞ではさすがに分が悪いのでは。		
7	13	ホールドユアハンド		レースセンスが高く、立ち回りが生きるコーナー4回のコースが向いている印象。実績上位も、一級線相手に大井1200mで好走るイメージが湧かない。		
	14	レベルフォー		前走優駿スプリントトライアルはハイペースに飲み込まれた影響があるにせよ、終いはバタバタだった。今回は14番ゲートなので前に行けるかも怪しいところ(仮に行けても序盤に脚を使うことになる)。苦戦必至だろう。		
8	15	マルヨキング	×1	大外枠がネックも、前走3歳800万円未満では1分13秒6で勝利。優駿スプリントトライアルでは4着に値するので、時計をもうひとつ詰められれば、優駿スプリントトライアル上位組とも差のない競馬に持ち込めるだろう。		
	16	マルパン		東京2歳優駿牝馬3着の実績があるものの、今年に入ってから成長が感じられない。近2走のレースぶりを見ても重賞では明らかに荷が重い。		